

新品種・新技術活用型産地育成支援事業（産地ブランド発掘事業）に関する事業評価票

九州農政局

No	事業実施主体名	新品種・新技術等の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
					基準年 (計画策定時) 平成28年	目標年 平成30年		
1	福岡県	温州みかん新品種「早味かん」の普及推進	28年度	産地、実需者のほか、行政や試験研究機関等の関係者を参集し、産地ブランド候補とした農産物の品質確保、生産拡大に向けた課題とその対応方策、販売戦略等についての検討を行い、関係者間の連携を図り、コンソーシアム形成に向けた共通認識を醸成する。	—	コンソーシアム候補を形成	<ul style="list-style-type: none"> ・適応性実証試験の実施 ・高品質果実生産技術に関する検討会 ・実需者の需要を踏まえた生産拡大に向けた検討 ・技術マニュアルの作成 	成果目標は達成した
2	佐賀県	オリジナルユリ「鳥巢の白薔」の作型開発とブランド化	28年度	産地、実需者、その他関係者が参集し、生産から販売までの安定した取引の実現と多様・細分化する需要に対し、細やかに対応できる生産供給体制を整備するため、関係者との連携を図り、コンソーシアム形成に向けた共通認識を醸成する。	—	コンソーシアム候補を形成	<ul style="list-style-type: none"> ・産地の拡大に向けた検討会 ・実証展示ほの設置 ・産地と実需者とのマッチング ・栽培マニュアルの作成 	成果目標は達成した
3	熊本県	温暖化に対応したナシ新品種「甘太」の導入	29年度	産地、行政等関係機関、実需者と連携し、需要に向けた品質の安定、生産拡大に向けた課題解決策の検討を行い、関係者間の連携を図り、コンソーシアム形成に向けた共通認識を醸成する。	—	コンソーシアム候補を形成	<ul style="list-style-type: none"> ・新品種の現地検討会 ・果実食味検討会 ・実証展示ほの設置 ・産地と実需者とのマッチング 	成果目標は達成した
4	熊本県	夏秋ギク新品種の生産振興	29年度	「強み」のある産地にしていくため、県やJA等の関係者が連携して、実証展示ほの調査、品質評価などの活動を行う。実需者の切花評価をもとに新たな販売戦略を策定するため、県、JA、実需者が連携して、コンソーシアムを形成する。	—	コンソーシアム候補を形成	<ul style="list-style-type: none"> ・実証展示ほの設置等検討会 ・新品種現地検討会 ・栽培マニュアルの作成 ・先進地事例調査 ・産地と実需者とのマッチング 	成果目標は達成した